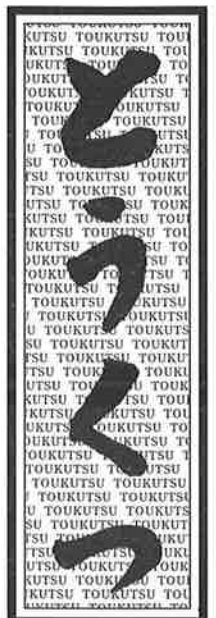




◎6月14日(火)
革靴の商品知識
 日本靴小売商連盟
 SF講師 小堤 幸雄氏

日本靴小売商連盟主催
 シューフィッター養成講座(平成
 23年度第二期)が去る6月14日
 (火)、15日(水)の両日、東靴協
 会西村記念ホールに於いて開
 催された。
 今回の受講生は本講29名、
 補講5名の合計34名が参加し
 た。
 カリキュラムは次の通り

シューフィッター養成講座
東京会場開催



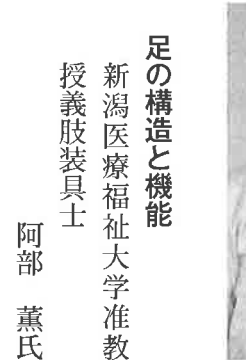
社団法人 東靴協会
 機関紙
 千代田区鍛冶町1-6-17
 〒101-0044 ☎(3252) 5656
 (7月号)



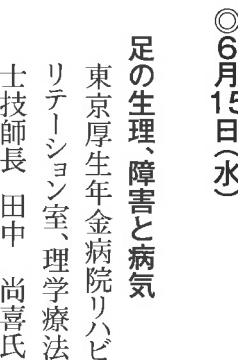
足を調べるゝ足型計測
 日本靴小売商連盟
 SF講師 木内 二郎氏



ゴム履物の商品知識ゝ底材
 (株)ムーンスター
 品質保証部部长
 山中 康博氏



足の構造と機能
 新潟医療福祉大学准教
 授義肢装具士
 阿部 薫氏

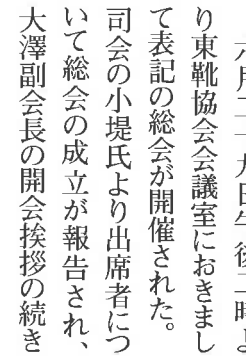


◎6月15日(水)
足の生理、障害と病気
 東京厚生年金病院リハビ
 リテーション室、理学療法
 士技師長 田中 尚喜氏

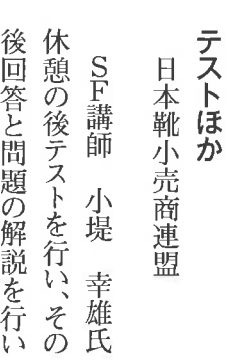


靴合わせの実際
 日本靴小売商連盟
 SF講師 鈴木信行氏

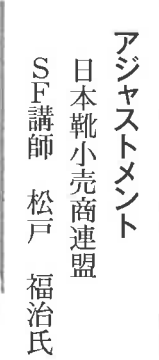
シューフィッターの皆様へ
 住所・勤務先等変更が
 生じた時は必ず協会ま
 でご連絡をお願いします



アジャストメント
 日本靴小売商連盟
 SF講師 松戸 福治氏



テストほか
 日本靴小売商連盟
 SF講師 小堤 幸雄氏



第二号議案・役員改選。
 会長には靴卸団体会長の
 大野氏が選任され、理事監事
 については各団体の推薦によ
 る役員名簿を発表、全員異議
 なく承認した。

六月二十九日午後二時よ
 り東靴協会会議室におきまし
 て表記の総会が開催された。
 司会の小堤氏より出席者につ
 いて総会の成立が報告され、
 大澤副会長の開会挨拶の続き

日本靴連盟総会開催

第一号議案・平成22年度事業
 報告及び収支決算報告。
 事務局より報告、続いて監
 査報告がなされ全員異議な
 く承認された。

第三号議案・平成23年度事業
 計画、収支予算案。
 事務局より説明の後議場
 に諮り異議なく承認された。

岩崎会長が「震災の影響もあ
 りますが、自粛ムードもやや
 和らぎ、きちつとしたものへのニ
 ーズも生まれ本場のサービ
 ス品質を問いただすチャンスです。
 もの創り、小売りのサービス
 を含め意識改革をして元気にな
 る事が大事です。」と挨拶。
 議事録署名人に廣江氏、井本
 氏を選出し議事に入った。

大野新会長が「国際化や縮
 小するマーケット等難題が多
 数ありますが、皆様の協力を
 得役に立ちたい。」と挨拶。

船井総合研究所 SOC研究会報告 ④

『安心感も売れる時代に』

初売りはいかがでしたでしょうか？今週末までロングランするところも多いと思いますが、今年の福袋をはじめとして、初売りの状況を見ていると個店ごとの差が大きく出ている状況が顕著です。

そして例年恒例のイベント！行事は比較的好調に伸び、新規で規模もそこそこに取り組んだイベントは伸び悩んでいるといった状況でしょうか。

今年最も気になった点は、「安心感」です。この福袋は例年中身が良い、この商品券は毎年使い勝手が良い、この接客はセールだからといっておざなりにならない…といった「安心感」にお客様の購買決定の視点があつたように思います。決してお得感だけで動いてはいないのです。「番店であればあるほど、それは顕著だったのではないのでしょうか。

福袋は、出た瞬間にWEB上に中身がアップされてしまう時代ですから手抜きすればするほど、2日目以降の売れ方に、

来年の売れ方に影響します。

そこで、今まで店舗で商売をされてきた信頼が本場に活きてくる時代になったと思えます。

ネットでは、ある程度繋ぎとめておいたお客様も、送料無料というだけで他店になびき、1円でも安いと今回は他店で、と仕入れ商品であればあるほどなりがちですが、店舗では、いつもそこにある安心感が購買に与える影響が大きいのです。

自分流にその場でカスタマイズした意見を聞くことができ、そのも当然対面で接客をおこなう店舗ならではの、

セールといえども、しっかりとしたものを買いたい、余計な出費を抑えたいというお客様の心理は、段と顕著になりました。

少し負けている店舗は、今からでもすぐに見直し、挽回できます。今年店舗では「安心感の訴求」と「即時対応」を意識してみたいかがでしょうか。④この記事は研究会の執筆を連載しているものです。

あるブログより
「ここではちよつと気になるブログを連載で掲載する。」

「プロフェッサー」言いたい放題 小島健輔の11

渋谷が見えない

70〜80年代の渋谷カルチャーをリードしたセゾングループも今は無く、その末裔たる西武百貨店とパルコも往時の勢いはない。渋谷パルコの凋落は公園通りを衰退させて神南の丘に広がったセレクト街も寂れさせ、もう一方のリード役だった109もファストファッションブーム以降、すっかり影が薄くなり、今や渋谷のメインストリートは外資SPAが並ぶ井の頭通りに移った感がある。

そんな渋谷の東口(旧東急文化会館跡)に来春、渋谷ヒカリエなる複合施設が開業する。

ミニージャカル劇場やオフィスも入る高層ビルで、下層階は東急百貨店がプロデュースする商業施設となる。ヒカリエの商業施設は、東横店が渋谷駅の建て替えで休業する間の仮設店舗になるとか、松濤の丘の上にある東急本店を移設するとか、様々に言われて来たが、結局はテナント主体の構成になるようだ。10年以上先の話になるが、渋谷駅の建て替え後は

駅ビルも出来るから、エキキュートやルミネも登場するのだろうか。

パルコは建て替えて捲土重来を図るとか言っているが、それで公園通りが復活するとも思えないし、西武百貨店もあの器のままでは将来性がない。東急本店だって何度も閉店の噂が流れているし、東急プラザなんてほとんど忘れられている。そう言えば渋谷マークシティとかも井の頭線の奥にありましたね。これで109の衰退に歯止めがかからないと街から魅力的なコアが消えてしまい、渋谷の商業立地は先行きが見えなくなってしまう。

渋谷駅の建て替えが終わって駅ビルが開業するのを待っているうちに、新宿や池袋どころか二子玉川や恵比寿にまで客を奪われ、渋谷はどんどん衰退して行くのかも。さすがのプロフェッサーも、いつたい渋谷の何処に店舗投資すべきか読みかねる。JRや東急からパルコや西武百貨店までバラバラな動きでは街の活性化も遅々として進まない。何だか今の日本の縮図みたいですね。

(小島健輔氏のブログより)

新刊紹介

『靴づくりの文化史』
…日本の靴と職人…

稲川 實 著
山本 芳美 著
四六判上製248頁
定価2000円+税

今、若者に靴づくりが人気だという。草鞋、下駄等が主だった日本人は明治以降の近代化の中で、日本人向きの靴をどのように作り出し、いかに靴に馴染んできたのか。世界の靴づくりといかに繋がっているのか。靴職人の実態に迫る。

近年まで製靴会社を経営の傍ら日本の靴産業史を研究されてきた稲川氏が「かわとはきもの」に連載した文章に、イレズミなどの研究者である山本氏によるインタビューと、各地の靴職人への聞き書きを加えた読みどころ満載の一冊となっています。

是非一読をお勧めします。なお、協会にも一冊ご用意しておりますのでご覧下さい。



理事会だより

平成二十三年八月二十三日(木)
午後二時半、西村記念ホール

司会の川上久和副会長より
参加者22名で会の成立を報
告。小堤幸雄新会長からの就
任の挨拶に続き、議事録署名
人に藤田正、松戸福治両理事
を選出し、議事に入った。

一、常務会・理事会・支部長会 そのものの運営について

小堤会長より、右記例会に
ついて次回より特別の事案が
あるとき以外、常務会理事會
は同時開催とし、親和会と支
部長(連絡)会は懇談会形式
にして二方向的な報告会から雑談
を含め様々な話し合いをする
会合にしたい旨提案があり、一
同に諮り承認された。

二、新組織の原案検討について

矢代裕夫副会長より、公益
法人制度改革を踏まえた新
組織案の骨子について別紙組
織図を参考に説明があり、理
事数、役職・各委員会の役割が
説明された。特に、役員は必ず
いずれかの委員会に所属して

役割を明確にし、正副会長は
各委員会の委員長を務め、そ
の審議内容提案を責任を持つ
て理事会に報告し決裁を受け
ることとする。従来「東青
会」が担っていた様々な検討事
項を新四委員会に振り分けた
こと。人選については継続性も
勘案し一部検討中であること。
新たな役職として専務理事に
佐宗事務局長が就き、全委員
会に出席し連絡、調整に当た
ることと収益事業の日常運営
に責任をもつて携わることなど
説明、一同に諮り了承された。

三、常務会費徴収の 今後について

小堤会長より、継続、減額、
運営等意見が求められた。左
宗専務理事より、現在の会計
状況の説明があり、今期徴収
分は次回に全額返金すること
とし、当面は集金を中断して懇
親会等の催事を企画、参加費
を徴収して実施していくことと
すること。徴収再開については
区切りが付いた時点とするこ
とを満場一致で決定された。

四、夏期学校講座について

小堤会長より、8月25日木

曜日12時より鈴木信行氏を
講師に迎え、「革靴の基礎知
識」(仮題)ということで開催さ
れるので、奮って参加するよう
要請した。

五、夏期学校・校外指導 予定期日について

川上副会長より、実施日を
秋に延期との決定を見ている
が、具体的には11月に実施す
ることを前提に「催事委員会」
で企画を進めたらどうかとの
提案があり承認された。

六、旧情報委員会、SF委員 会の新組織の報告について

小堤会長、矢代裕夫副会長
より、別紙議事録等を参考に
審議内容、提案内容が説明さ
れた。特に「SF:教育研修委
員会」(仮称)と日本靴小売商
連盟の「シューフィッター委員
会」の役割分担や養成講座の一
部外部委託の発想について詳
細な提案、報告があつた。一同、
了承した。

七、シューフィッター養成講座 (東京認定)について

小堤会長より、今月開催れた
シューフィッター養成講座受講

者のテスト結果がおおむね優
良であったことが報告され、29
名の認定について承認された。

八、合同ビル関係の耐震設計 実施について

佐宗専務理事より、先の震
災のため日東・合同ビルが罹災
し、その復旧工事のため合同ビ
ルを含めた耐震設計作業を前
倒しで今月下旬から行うこと
を坂詰園雄建築設計事務所
から提案されていることの説明
があつた。

多額の予算執行のため決裁を
求め、承認を得た。

九、その他

小堤会長より、日本靴連盟
役員改選につき当協会・日本
靴小売商連盟の理事の中から
兼松、谷口両氏が新理事に、栗
原茂氏が新監事に就任予定で
あること。佐宗専務理事より、
小堤、矢代(日本靴連盟卸団
体連合会から選出)両氏が副
会長に就任予定であること。
飯村事務局長の定年退職(当
面勤務継続)と新事務局長と
して田中早映子さんが7月よ
り勤務することの報告がなさ
れた。

新事務局員紹介



長年
勤務さ
れた飯
村事務
局長が
定年退

職のため、新事務局員として
田中早映子(たなかさえこ)
さんが勤務することとなった。

田中さんは元、株式会社銀
座ヨシノヤの社員だった方で現
在は税務会計事務所職員とし
て勤務されている方です。
当協会へは七月より勤務さ
れる事となりました。

お若く、明るい方です。
今後のご活躍に期待致します。

夏期学校開催! 参加者募集

日時・8月25日(木)
午前10時より
会場・当靴協会
西村記念ホール
講師・日本靴小売商連盟
シューフィッター講師
鈴木 信行 氏

演題・「革靴の基礎知識」
足型計測・靴合わせ・
アジャストメントをシュー
フィッターの原点に返り復
習しませんか?



—新宿支部—

神田支部(三島支部長)・千代田靴小売協同組合(北城理事長)の総会が6月19・20日、9名の参加で長野県上田市別所温泉「玉谷旅館」において開催された。



上田市周辺の国宝「大法寺三重塔」「安楽寺八角三重塔」などの名刹を周り、旅館で開催の総会は全ての議事が無事に承認され終了した。温泉で日頃の疲れを取り、懇親

会では大いに盛り上がり親睦を深めた。



一日目は上田城址など真田一族の足跡を訪ね、松代大本営跡、象山神社、川中島古戦場などを見学し充実した時を過ごした。

常務会慰労会開催

六月二十三日常務会、理事支部長会終了後、合同ビル地下二階の「阿蔵」において、常務会慰労会が開催された。

前会長中村久男氏以下、清水、井本、川上、恩田、櫻本、小堤会長、矢代、栗原茂の各氏と佐宗専務理事の10が参加した。前会長、副会長の功績に感

謝し労をねぎらうとともに、新会長への期待と励ましとで和気あいあいの中、和やかに行われた。



中村前会長の功績は、一般社団法人への移行の決定、隣接する日東合同ビルの購入、また長年にわたりシューフィッター事業の改革等、多大な功績を残した。

また、昨年11月に行った東靴協会60周年記念事業は印象深く思い出される、副会長の清水氏は都債購入や毎月の財務関連の確認、同副会長の井本氏と共に常務会、親和会、校外指導等の行事の企画進行に中心になり携わってきた。井本氏は規格委員会委員長として公益法人制度改革、共助会規約、就業規則等の推進作成に実務者として携わり多くの実績を残されました。

東京都中小企業景況調査 [5月]

業況：3か月ぶりに上向き
見通し：厳しい水準ながら上昇の兆し

卸売業			業況			
対象数	回答数	回答率	5月		今後3か月間見通し(当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	362	41.4%	-100	0 100	-100	0 100
衣料・身の回り品	1. 男子服					
	2. 婦人・子供服					
	3. 靴・履物					
	4. かばん・袋物					
	5. 装身具・身の回り品					

小売業			業況			
対象数	回答数	回答率	5月		今後3か月間見通し(当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	307	35.1%	-100	0 100	-100	0 100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具					
	2. 男子服					
	3. 婦人服					
	4. 子供服					
	5. 靴・履物					
	6. かばん・袋物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時計・眼鏡					
	9. ジュエリー製品					

景況についてのアンケート結果 (対象月…23年6月)

- ▶ 全体的な業況
 - 良い 25.0%
 - 悪い 37.5%
 - 変わらず 37.5%
- ▶ 売上げ
 - 前月比 増えた 12.5%
 - 減った 50.0%
 - 同じ 37.5%
 - 前年同月比 増えた 25.0%
 - 減った 37.5%
 - 同じ 37.5%
- ▶ 販売価格は前月比
 - 騰貴した 0.0%
 - 下落した 12.5%
 - 同じ 87.5%
- ▶ 販売経費は前月比
 - 増えた 0.0%
 - 減った 12.5%
 - 同じ 87.5%

★投稿募集★
これからも皆様に喜ばれる記事として、身近な出来事も取り上げてまいります。街のこと、業界のこと、旅の思い出など、情報投稿をお待ちしております。

会員討報

本橋 猛氏

(荒川支部・ムサシヤ靴店)
平成二十三年六月十八日
老衰・享年九十七歳。

増山 清氏

(中央支部・増山靴店)
平成二十三年五月二十二日
肺炎・享年七十七歳。